

令和6年度青森市認知症フォーラム 開催報告

1 事業概要

市民に広く認知症についての関心と理解を深めるため、
9月の認知症月間にあわせて認知症フォーラムを開催しました。

2 開催日時・場所

日時: 令和6年9月14(土)12:00~16:00
場所: アウガ5F AV多機能ホール・研修室・展示スペース

3 参加者数

- 203名(メイン会場・サブ会場)
- ・一般 135名
 - ・チームオレンジメンバー25名
 - ・ブース等協力関係者 43名

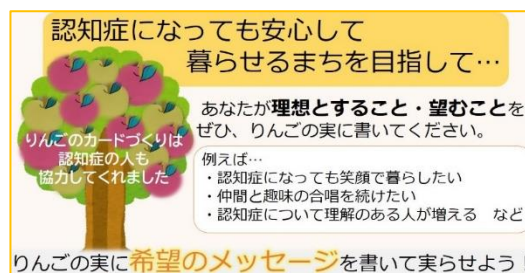


4 会場の様子

当日、来場者に「希望の木メッセージ～認知症になっても安心して暮らせるまちへ」(青森県作業療法士会企画)として、希望のメッセージを書いてもらいました。

- ・心の蜜をいっぱいもった市民が増えるように
- ・安心して「忘れた」「まちがった」が笑顔で言える
- ・みんなが”おたがいさま”といえるまちに 等

161人のメッセージが集まりました。皆さん、あたたかなメッセージをありがとうございました。



<メイン会場 AV 多機能ホール>

受付(受付横には「希望の木メッセージ」)



認知症予防は生活習慣病の見直しから
推定野菜摂取量をチェック(青森市立浪岡病院)



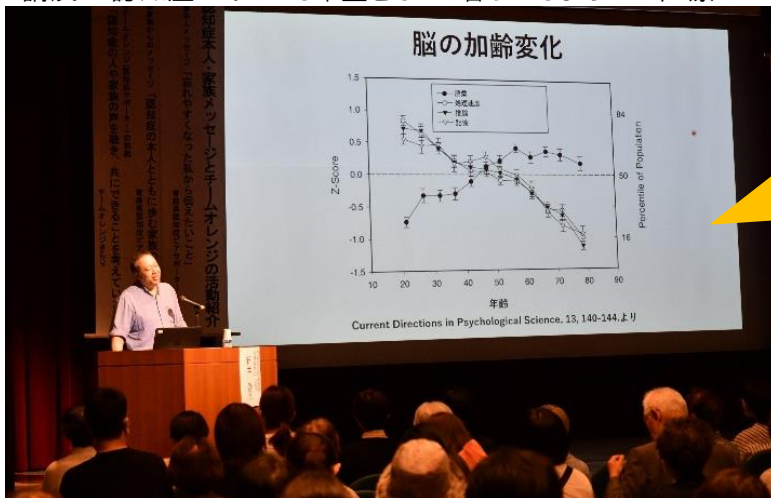
講演開始前には、運動実践「レッツ！ロコトレ」



開会挨拶は赤坂副市長



講演 「認知症があっても希望をもって暮らせるまちへ～医療でできること、できないこと」



「病気は変えられないが
人生/生活は変えられる」
青森県立中央病院 脳神経内科部長
新井 陽 医師

(参加者アンケートから)
「新井先生のお話がとてもわかりやすく、
勉強になりました」等の声多数

認知症の本人と家族メッセージ
(青森県認知症ピアサポーターの本人とご家族)



(参加者アンケートから)
「辛さをこらえての発表に感動しました」
「感情は記憶として残るので、優しくサポートして
あげたい」

チームオレンジ(認知症サポーター)の取組
チームオレンジきらり活動紹介



(参加者アンケートから)
「それぞれの立場で一生懸命活動している様子
が伝わってきました」

<サブ会場 研修室・展示スペース>

令和5年度 青森市 認知症フォーラム

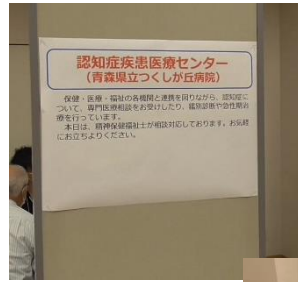
研修室ほか(AV多機能ホールとなり) 12:00~16:00 当日来場可、事前申込不要

12:30~14:00
認知症相談コーナー 介護や福祉の専門家が相談に応じます
 「家族が認知症かもしれない?」「認知症の家族への対応方法は?」
 「介護や生活の工夫はどうしたらいい?」
 ●青森県立つくしが丘病院 認知症疾患医療センター ●青森県若年性認知症総合支援センター
 ●認知症のひと家族の会青森県支部 ●青森県作業療法士会
 ●青森市地域包括支援センター

脳健康チェックコーナー
 タブレット端末のアプリをつかって、ゲーム感覚で脳の健康度を簡単チェック
ロコトレ&脳トレ体験コーナー
 大学生たちと楽しく介護予防体験や脳トレにチャレンジ

12:00~16:00
認知症に関するパネル展示
 認知症を理解するためのパネルのほか、市で行っている認知症施策の紹介など
認知症に関する動画上映
 認知症の本人や地域の人たち、認知症の親と暮らす家族の声を集めた動画など、認知症の理解を深める動画を上映

介護や福祉の専門家による相談コーナー

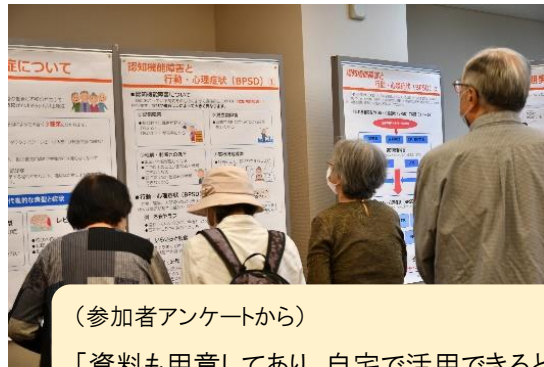


- ・青森県立つくしが丘病院
- ・認知症のひと家族の会
- ・青森県作業療法士会
- ・青森市地域包括支援センター

脳健康チェック



認知症に関するパネル展示



(参加者アンケートから)
 「資料も用意しており、自宅で活用できると感じました」

大学生によるロコトレ&脳トレ体験(青森県立保健大学・青森中央学院大学)



(参加者アンケートから)
 「脳トレゲーム(体操)がとってもBetter!!」
 「学生さんたちが明るくてよかった」

最後にブース協力の皆さんと



多くの市民の皆さんと認知症について学び・交流する1日となりました。皆さんご参加ありがとうございました。
 認知症になっても安心して暮らせるまちへ向けて、みんなでできることからつながりの輪を広げていきましょう。